

看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン

令和3年4月に法令が改正され、放射線業務に従事する人の眼の水晶体の被ばく線量の上限値が大幅に引き下げられました。

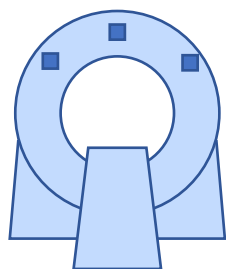
旧：150ミリシーベルト/年



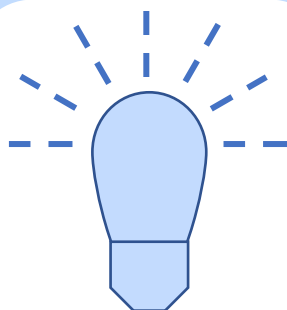
新：

100ミリシーベルト/5年
及び
50ミリシーベルト/年

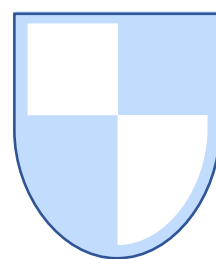
看護職の眼の被ばく線量の低減を図るための適切な防護方策の実施に本ガイドラインをご活用ください。ガイドラインは以下のような17のQ&Aで構成しております。



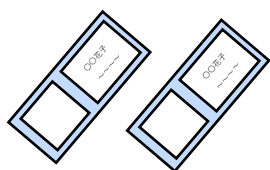
注意すべき放射線診療は？



放射線がどこから発生するかに注意



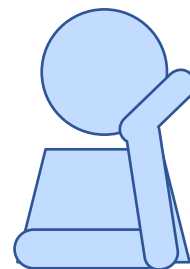
どんな防護が必要？



被ばく線量は
どう測定する？

2022年12月		
〇〇太郎		
実効線量(mSv)		○▲
等価線量	水晶体	○○
	皮膚	○○
	～～	××
	～～	▲▲

被ばくした線量は
確認できる？



管理者は
何をしたら良い？

